

様式 1

令和 2 年度富谷市立あけの平小学校 学校関係者評価書

令和 3 年 2 月 9 日

学校関係者評価委員会

氏 名	印
氏 名	印
氏 名	印
氏 名	印

1 総評

前提として、今年度はコロナウイルス感染症予防の観点から、教育活動に大きな制限があったため、例年どおりの評価をすることは大変難しい。また、評議員として学校に来校する機会が激減したこともあり、分からないことが多かった。今年度はあくまでも「コロナ禍の中での学校評価」という観点から評価を行った。

(1) 本校の今年度の重点目標とその取組状況について

- 分かる授業の構築については ICT 機器を活用することで、これまでにない取組を進めることができおり、昨年度よりもポイントが上昇した。
- 充実した施設・設備については、今年度は体育館の屋根の改修や、照明の LED 化等が進められ、学習環境が充実し、より質の高い教育活動が可能になった。
- 家庭や地域への情報発信については、学校だよりや学年・学級だよりの発行を定期的に行っており、情報発信に努力している。

(2) 成果について

- コロナ禍の非常時にもかかわらず、教職員が児童や保護者のために様々な努力をしていることに感謝している。
- 臨時休業等で、授業時間や教育活動に大きな制約があったものの、様々な工夫をしながら、児童が充実した学校生活を送ることができている。

(3) 課題や改善を要する事項について

- ICT 機器の活用だけでなく、教師の働き掛けも大切にしながら、バランスの良い授業づくりをこれからも進めてほしい。
- 家庭や地域への情報発信については、ホームページを充実させるなど、ICT 機器を積極的に活用していきたい。
- アンケートの結果について、家庭や地域に情報を伝え、状況を共有しながら改善に努める必要がある。
- いじめや不登校の対応だけでなく、遅刻等に対する学校の取組を、保護者や地域の方へもっと周知する必要がある。

2 各領域等の評価

領域	評価の観点	評価	意見・改善案等
学校運営	1 開かれた学校づくり	B	○学校運営に関して、教職員が真剣に議論し、改善に努めている様子がうかがえる。
	2 魅力ある学校	B	
	3 施設・設備	A	○情報の発信に努めているが、ホームページの充実を図るなどの工夫もお願いしたい。
	4 安全管理	A	
	5 教職員の資質の向上	A	○ボランティアとの連携については、コロナ禍でほとんどができていなかったため、意見や改善案を出すのは難しい。
	6 特色ある教育活動等	C	
教育課程	1 確かな学力	A	○学校の指導だけでは難しい現状があり、家庭とのさらなる連携を図ることが大切である。
	2 豊かな心身	B	
	3 特別活動	B	○生徒指導や教育相談は、児童一人一人に寄り添った指導を、今後も継続してほしい。
	4 生徒指導・教育相談	A	
	5 特色ある教育活動等	C	○たてわり活動については、コロナ禍で全くできなかったため、改善案を出すのは難しい。
課題教育	1 環境教育	B	○学校への来校を制限されたため、ボランティアの協力がなく、教職員の負担が大きかった。
	2 特別支援教育	A	
	3 図書館教育	B	○コロナ禍でも読書習慣の確立に努力しており、今後も更なる取組の強化を意識してほしい。
	4 健康教育	B	
	5 特色ある教育活動等	A	○今後も家庭と協力しながら、心身の健康の啓発に力を注いでほしい。
地域との連携について		A	○実際に集まることはできなかったものの、紙面で情報を共有したり、電話やメール等で連絡を取り合ったりしながら、できることから進めていた。 ○図書館の装飾など、一部のボランティア活動は実施できた。
いじめ問題への取り組み		B	○いじめへの対応については、アンケートを工夫したり、結果を共有したりするなど、家庭との協力体制をより強化してほしい。